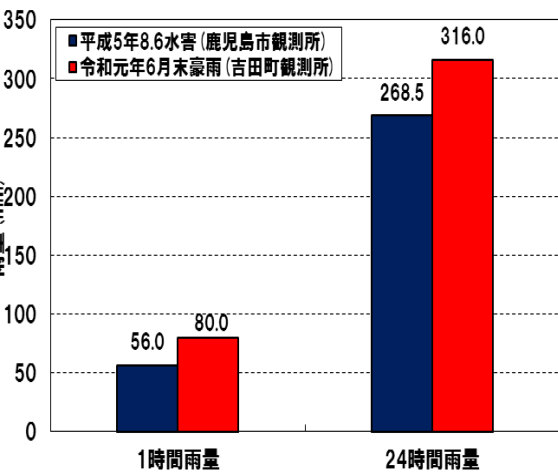


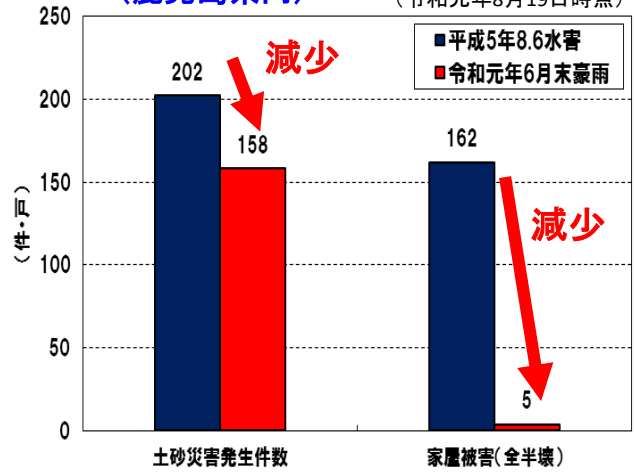
# 令和元年6月末からの大雨に関する砂防事業の効果

○ 鹿児島県では、平成5年の8.6水害を受けて、近年大きな被害を受けた地域等に砂防関係施設を重点的に整備してきた結果、土砂災害の発生件数及び被害が減少している。

## ■ 降水量の比較



## ■ 土砂災害の発生件数及び家屋被害 (鹿児島県内)

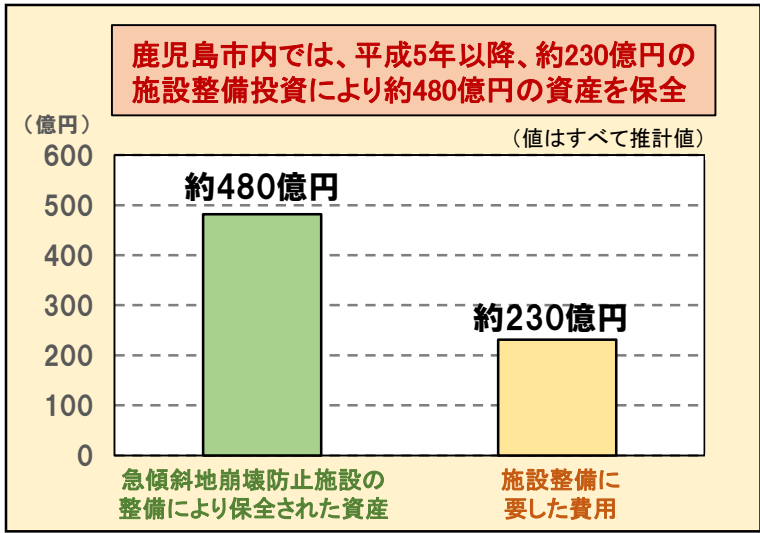


## 鹿児島県における砂防関係施設の整備状況

	H5年度	H30年度末	増減
砂防関係施設設置箇所数	871箇所	1,785箇所	+914箇所
整備率	20%	36%	+16%

※ 整備率は、対策を必要とする箇所数に対し、施設が設置されている箇所数の割合を表す。  
 ※ 施設設置箇所数は、土石流、急傾斜、地すべり対策施設の合計値

## 鹿児島市内における急傾斜地崩壊対策の事例

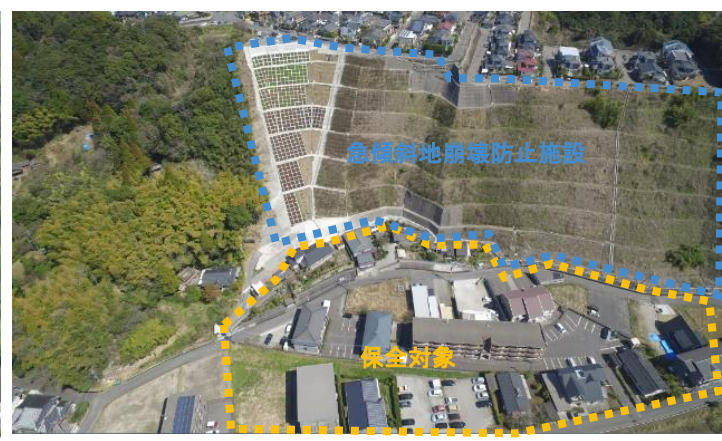


### 施設効果事例



砂防関係施設が崩壊土砂を捕捉 (鹿児島市坂之上地区)

### 急傾斜地崩壊防止施設



急傾斜地崩壊防止施設 (鹿児島市田上)